

◇現代社会と青年◇

ワンプレート茶道

〈天国の仲間には捧げたメダカ〉

むろだて いさお
室館 勲株式会社潮流社 社長
株式会社キャリアコンサルティング
代表取締役社長

キャリアコンサルティングでは日本の伝統文化を伝えていく事業もおこなっております。私も「若者に伝統文化を伝える会」会長としてその一翼を担っています。日本各地の伝統工芸品、そして日本の伝統的な民族衣装である着物の着付け、日本神話の伝承劇などを通して、若者に日本の伝統文化を伝えることをおこなっています。

私や社員も茶道の薫陶を受けた経験もあります。茶道が大切に行っている「和の心」「おもてなしの心」を伝えるために、シンプルにお茶を楽しめる「和心茶道」というワンプレート茶道が社員より考案され、学びの場が提供されています。一つのプレートに、季節の行事、お花、和菓子、茶器などを用いて、茶道の世界感を表現するものです。季節を通じて、春夏秋冬の行事や飾りつけを学べます。

和心茶道の学びの最終月は卒業制作として、自分の大切な人に心を込めたワンプレ

ート茶道を作成します。遠く離れた母親や、普段お世話になっている上司、天国のおじいちゃんへのプレートというものもありました。若者の、思いやりの心あふれるしつらえと、その裏側の素敵なエピソードに感動が止まりません。

その卒業制作発表会で特に印象的だったのは、Sさんの「天国の仲間へ」というプレートです。三代半ばに、がんでこの世を旅立たれた仲間、Mさんへのプレートでした。和菓子、お抹茶、お花などを中心にプレートを仕上げていきます。するとSさんは、おもむろに発泡スチロールからメダカを数匹すくい、綺麗な器へと移しました。お菓子もお茶碗もお抹茶も見事でしたが、周囲の目はそのメダカに釘づけです。なんとMさんの生前、Sさんとの共通話題がメダカの飼育だったそうです。「いつか、お互いが育てたメダカを交換して交配させよう」と、闘病中のMさんを励ましていたのです。Mさんが旅立たれた後、Sさんは悲しみに暮れながらも、約束を果たそうとメダカの卵を手に入れて、見事、孵化に成功。今回はそんな二人の想いが詰まったメダカを持って来て、ワンプレートの中で披露してくれました。

その場にいた十名全員が、感動に包まれました。天国のMさんも、メダカを眺めながら、美味しいお抹茶を一服いただいたのではないのでしょうか。

思いやり、おもてなしの心を伝えられることは素晴らしいことです。和心茶道を通して、誰かに想いを寄せられる若者を育てていきたいと思っています。